

一 六月已後、筑波山出張歩兵等の兵糧  
焚出し等八戦争ち八十里程も手前の場二  
而仕度致し、戦争場江常二相贈り申候由。  
致又処、兵糧米一日分先一日二八俵十俵ツ、  
焚出申候与申事二候処、実八二三俵焚出二而  
其余を八米二而私二遠方へ相運ひ売払  
申候由。勘定兵糧方など一人二て数千金を  
私シ致候由。

一 筑波山并那珂辺二而兼而戦争二而歩兵  
死人前後惣数五百人二及申候由。右歩兵死  
人一人二付金十両ツ、吊与カ代被下二相成候処、出  
勘定方二而村ち抱ひ候歩兵八金壹両余、江戸  
二而抱ひの歩兵二も壹両二歩ツ、相充行二而  
葬り申候由。勘定方大增の金を貪り  
申候由。

右荒増の書取二候間、尚追々委敷可申上候。

十二月九日

山本龍次郎

※句読点を補っています。

福井藩の探索方による天狗党の乱に関する報告で  
す。関東での戦闘において、幕府の役人が兵糧や見舞  
金を着服しているようだという情報入手し、その方  
法なども詳しく書き上げています。

山本龍次郎は関義臣としても知られ、この後に海援  
隊に入り、維新後は知事や議員を歴任した人物です。